

シリーズ④
**私たちのまち
 雲南市の
 まちづくり基本条例**

雲南市では、市民参加や行政運営のルールなどの基本的事項を定める条例を制定することにしました。基本条例の内容については、市民の皆さん12人による「まちづくり推進懇話会議」で検討されています。今回は、第4回まちづくり推進懇話会議での主な意見をお知らせします。

「情報」について

・雲南市も情報公開に取り組んでいるが、まだまだ非公開の部分も多い。
 ・行政の情報の発信の仕方は、住民向けと議会向けといった操作が感じられる。
 ・行政から発信される情報というのは、非常に分かりづらいため、分かりやすい言葉で伝えることが大切であるが、こうした部分についても市民側にアウトソーシングすること
 ・とで解決できるのではないかと。
 ・「よく分かる予算説明書」なども発行されているが、市民に政策も含めた意思決定過程といったものが伝わるようにするべきである。
 ・情報を受け止める側の責任も非常に大きく、発信される情報に耳を傾けたり、自らが知ろうという意識を持つことが大切である。

会議の内容は「市報つんなん」や「市ホームページ」で随時お知らせすることとしておりますので、基本条例やまちづくりに関し、自由なご意見をお聞かせください。
 なお、会議は公開してありますので、ご覧になりたい方は、事前にご連絡ください。
 政策企画部政策推進課
 ☎0854・40・1011

5月18日(金)、4回目となるまちづくり推進懇話会議が開催され、出席した委員は二班に別れて、「人材育成・「子ども」・「情報」といったキーワードを中心に意見交換を行いました。



「子ども」について

・土地開発や住宅の作り方などで、核家族化・少子化を助長してしまっているのではないかと。
 ・子どもが監視されているようであり、かわいそうである。
 ・過保護にならないような、自立に向けての支援が必要である。

・子どもの頃からまちづくりを考える機会を与えることが必要である。
 ・PTAや地域が一体となった取り組みが必要である。
 ・子どもがいないと地域が成り立たない。
 ・子どもは地域の宝である。

「人材育成」について

・特定の人に任務が集中しており、他の人の参加の機会が少なくなっている。
 ・地域の中核を担う、30〜40代の人に、地域のことに無関心な人が多い。
 ・リーダーを中心に地域がまとまるので、リーダーの育成が必要である。
 ・人材育成とあわせて、人材の発掘が必要である。(例えば、特技を活かせる場づくり)

・若者が培ってきた力を活かせる場を、地域としても提供する必要がある。
 ・祭りや伝統行事を維持していくことも、人材育成に繋がる。
 ・観光協会の事務局が各総合センターにあるが、行政主導となる要因である。行政にお願いし直すのではなく、住民が主体的に進めることが重要で、自発的に取り組むことで人材は育っていく。
 ・人材育成には時間がかかる。

安心して過ごせる居場所

「ふぁーすと」の紹介

「安心して過ごせる居場所『ふぁーすと』」
 は、三刀屋川沿いにある文化体育館アスパルに隣接しています。ここには学校に行きにくい小中高生や家に閉じこもりがちな若者がやって来ます。また、スタッフと相談をするためにやって来る家族の方もおられます。

「安心して過ごせる居場所『ふぁーすと』」

は、三刀屋川沿いにある文化体育館アスパルに

「人と一緒にいると何だかすごく疲れる…」 「人の目が気になる…」 「家にいるしかない…」 「今のままでいいのだろうか…」 やって来る皆さんは、みんなそれぞれがいるいろいろな思いをもってきます。迎えるスタッフは、そんな方々の思いを



「ふぁーすと」の正面玄関

まず受け止めることを心がけています。



三刀屋川の遊歩道から見た建物と裏庭

「もともと運動が好きだけど、家にいるとそんな気分になれない」という人には、プレイルームや裏庭などのできる遊びや軽スポーツがいいかもしれません。

初めは体を少し動かす程度だったのが、通って来るうちにだんだん楽しくなってきました、そのうち軽スポーツをするのを目的に「ふぁーすと」にやって来るようになった人もいます。なにか目的ができると、また別の行動を始めるエネルギーが生まれます。「夕方なら学校に行けるかも…」 「電話なら友達と話してみてもいいかも…」 といったぐあいに。



多目的に使えるプレイルーム

また、スタッフと接しているうちに、人付き合いで感じていたストレスをそれほど感じなくなり、少しずつ自信を持つことができた人もいます。



個室としても使える相談室

「今は静かに時間を過ごしたい」という人には、個室のように使える部屋もあります。(もちろんプレイルームで過ごしても構いません。)「ずっと一人きりがいいわけじゃなくて、時々スタッフとおしゃべりを

してみたい」という人には、様子を見ながら声を掛けるようにしています。
 一人で勉強する人もいれば、頭をひねりながらスタッフとボードゲームをする人もいます。
 スタッフは、「ふぁーすと」を利用する皆さんが、何を求めてやって来るのか、どうすればその求めに答えられるのかを常に考えています。学校に行きにくい小中高生や家に閉じこもりがちな若者のための「安心して過ごせる居場所」だからです。
 一度見学においでください。「ふぁーすと」(Faster)で、新しい何かが始まり、新しい一歩が踏み出せるかもしれませんよ。

ふぁーすと

(アスパル南隣り)

月～水曜日(祝日を除く)

午前9時～午後4時

☎0854-45-5176

☎0854-40-1072

教育委員会学校教育課